

2つの重点プロジェクトに取り組みます。

重点プロジェクト 1

ごみ発生抑制プロジェクト

もやせるごみの重量の多くを占めるのが生ごみです。現代では多くの食品ロスが問題になっています。買いすぎないことや食べきりを意識し、食品ロスの削減に努めます。また、分別を徹底し、リサイクルに努めます。

【目標】

- 家庭系もやせるごみの減量
[29年度実績(1人1日当たり)443g → 目標年度 420g]
- 雑がみ回収量
[29年度拠点回収実績 13,960kg → 目標年度 36,000kg]



重点プロジェクト 2

地球温暖化防止プロジェクト

地球温暖化防止は一人ひとりの意識が大切です。家庭や職場で省エネや温室効果ガス削減を意識し行動します。

【目標】

- 家庭のアクション参加世帯数
[29年度実績37世帯 → 目標年度 200世帯]
- 事業所アクション登録事業所数
[29年度実績1事業所 → 目標年度 30事業所]
- エコドライブ講習受講者数
[29年度実績なし → 目標年度50人]
- 環境に関するイベントの開催



第2次 雑とべに花の里環境基本計画

中間見直し



●中間見直しの背景

第2次雑とべに花の里環境基本計画は、河北町環境基本条例に掲げる基本理念の実現に向けて、平成26年3月に策定されました。計画期間は、平成35(2023)年度までの10年間ですが、環境を取り巻く情勢の変化や継続する課題に対応するため、後半5年間の施策を見直し、「豊かな自然と豊かな心で未来をひらくまち かほく」の実現を目指します。

●中間見直しのポイント

見直しにあたっては、第2次雑とべに花の里環境基本計画において目標としている環境の将来像、基本目標、基本的施策など基本的部分は継承することとしました。
計画では、基本目標ごとに基本的施策・主な取り組み及び環境指標を設定しています。これらの施策の実施状況について検証し、その進捗状況を踏まえ、平成31(2019)年度から平成35(2023)年度までの計画を見直しました。

●中間見直しの結果

★環境施策の追加・修正
【基本目標1】
大気環境対策の推進における町の役割中、渋滞解消について特定の道路での取り組みとしていましたが、国道287号を含めた町全体の主要な交差部の渋滞解消に改めました。

【基本目標2】
公園・緑地、水辺空間の整備については、都市計画マスタープランの内容に合わせ、維持・充実していくこととしました。

【基本目標4】
家庭から排出される生ごみの資源化に取り組んできましたが、時代の変化にあわせ、今後は生ごみの発生を抑制する活動にも重点をおき、町民・地域、事業者、町がそれぞれの役割で取り組んでいきます。

★環境指標の見直し
達成状況により数値の見直しを行いました。これからの主な取り組みと環境指標は中面及び裏面に記載しています。

この計画の全文は、町のホームページの「まちづくり各種計画」からご覧いただけます。

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/>

河北町環境防災課

平成31年3月
山形県 河北町

「豊かな自然と豊かな心で未来をひらくまち かほく」の実現へ

これからの取組みと環境指標(太字が見直し箇所)

基本目標1

安全・安心な生活環境を守るまちづくり

【これからの取組み】

◆資源やエネルギーを大切にし、大気環境や水質保全に努め、積極的に環境保全に配慮します。

●大気環境

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
二酸化硫黄濃度	0.003ppm(1日平均値)	環境基準達成かつ現状値以下
二酸化窒素濃度	0.015ppm(1日平均値)	環境基準達成かつ現状値以下
浮遊粒子状物質濃度	0.026mg/m ³ (1日平均値)	環境基準達成かつ現状値以下
光化学オキシダント濃度	0.084ppm(昼間1時間値の最高値)	環境基準達成かつ現状値以下
生活・事業所悪臭苦情件数	1件	限りなく0件に近づける

●水環境

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
河川水質(BOD) mg/ℓ	法師川 1.5 0.9	現状値以下
	古佐川 1.4 0.8	現状値以下
	滝ノ沢川 1.3 0.8	現状値以下
	村山渋川 2.5 5.0	2mg/ℓ以下 (A類型相当)
	楨川 1.2 0.5未満	現状値以下
	寺川 1.4 0.7	現状値以下
工業団地付近水質 (BOD)mg/ℓ	谷地工業団地 4.7 花ノ木工業団地 1.2	現状値以下 現状値以下
公共下水道水洗化率	82.2%	90%
生活排水処理率	77.9%	92%

※現状値中、河川水質(BOD)上段は6月、下段は10月測定値
A類型:イワナ、ヤマメ等が生息できる程度の水質

●静穏環境

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
生活・事業者 騒音苦情件数	0件	限りなく0件に 近づける

※公害苦情調査による

●有害化学物質対策

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
ダイオキシン 類濃度(大気)	(参考値)東根市中央 (0.0084 pg-TEQ/m ³)	現状値以下かつ 環境基準以下

基本目標2

快適で住みやすいまちづくり

【これからの取組み】

◆貴重な歴史文化や地域文化を保存・継承します。

◆公園・緑地、水辺空間の維持・充実を図り、空き家対策を推進し、快適な環境づくりを進めます。

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
管理が不十分な 空き家軒数	16軒	7軒以下

基本目標3

自然環境との共生が 実感できるまちづくり

【これからの取組み】

◆多様な自然環境を保全し、希少な動植物の生態系を維持・継承します。

◆自然との共生を実感できるまちづくりを進めます。

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
耕作放棄地面積	64ha(平成27年度)	現状値以下
エコファーマー登録数	177人	300人
林野面積	1,422ha	1,422ha
人工林率	26%	27%

基本目標4

循環型社会の推進に積極的に取り組むまちづくり

【これからの取組み】

◆使い捨て製品使用の抑制や食品ロス削減を推進し、ごみの発生抑制に努めます。

◆正しく分別し、循環型社会の形成に努めます。

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
1人1日当たりのごみ排出量	786g	770g
1人1日当たりの家庭から出るもやせるごみの排出量	443g	420g
散乱ごみ回収数量	2,540kg	500kg
不法投棄の箇所数	13箇所	0
一般廃棄物リサイクル率	13.2%	15.5%
集団資源回収数量(紙類)	338t	450t
雑がみ回収数量	13,960kg	36,000kg

基本目標5

地球環境の保全に貢献するまちづくり

【これからの取組み】

◆省エネルギーや温室効果ガスの削減を推進します。

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
公用車における次世代自動車台数	5台	8台
公共施設における再生可能エネルギー設備導入箇所数	11か所	12か所
住宅用太陽光発電システム設置戸数	99戸増	200戸増
電気自動車用充電設備設置箇所数	1箇所	5箇所
エコドライブ講習の参加人数	-	50人

基本目標6

みんなで学び協働して進めるまちづくり

【これからの取組み】

◆環境学習の充実や環境に関する情報の発信を行います。

◆一人ひとりが環境活動に取り組みます。

環境指標	現状値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
町内での環境に関する講座の実施回数	2回	3回
家庭のアクション参加世帯数	37世帯	200世帯
事業所のアクション登録事業所数	1事業所	30事業所
環境保全活動に関する報告回数	1回	1回